

# 日本木材学会木質物性研究会 2021年度 春の講演会

## 「国産材の内需拡大に対する考え」

政府はわが国の木材自給率を50%とする目標を立てていますが、そのロードマップに課題は山積しています。大切なのは国産材、外材を問わず、木材を利用する新たな環境づくりとしてCLTやナノファイバーに次ぐ新規材料の開発や新しい領域への進出を図ることです。

一方、再生可能エネルギーの一つとして、木材や建築廃材などを燃料とするバイオマス発電が循環型社会に向けて強い期待を集めてきました。ただ、政府によるトップダウンの政策手法では地域に浸透、定着させるのは難しいことも分かってきたため、地域主導型のバイオマスの成功事例を生み出していくことが課題と思われれます。

今回、国産材内需拡大に対する考えを、2名の講師の先生方からご講演をいただく会を企画いたしました。また、講師の先生方をパネラーにお迎えして、将来的な技術開発やものづくりに向け、必要な研究や観点についてパネルディスカッションを行います。オンライン開催のため、多くの方々の参加を心からお待ちしております。

主催：(一社) 日本木材学会 木質物性研究会

協賛：(公社) 日本木材加工技術協会

日時：2022年3月1日(火) 13:00~16:55

会場：オンライン開催 (Zoomを利用予定)

内容：「国産材の内需拡大に対する考え」

### 【プログラム】

13:00~13:10 開会挨拶・趣旨説明

13:10~14:40 『木質バイオマスのエネルギー利用に向けた課題と展望』

森林総合研究所 柳田 高志 氏

14:40~14:50 休憩

14:50~16:20 『レーザーインサイジングとその流体注入への応用』

東京農工大学名誉教授 服部 順昭 氏

16:20~16:50 パネルディスカッション

(司会：三重大学生物資源学部 中井 毅尚 氏)

16:50~16:55 閉会挨拶

参加費：無料

定員：100名 (事前申込要、先着順)

参加申込：参加申し込みに関する詳細は、決まり次第、木質物性研究会 HP ([http://www.jwrs.org/kenkyu/physical\\_p/](http://www.jwrs.org/kenkyu/physical_p/)) にて掲載いたします。

### 【問い合わせ先 (事務局)】

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 三好 由華

E-mail: ymiyoshi@ffpri.affrc.go.jp